

岩手県 わかめ生産日本一

2013年3月5日
NHKラジオ

岩手のワカメの養殖(ようしょく)は昭和40年頃から急速(きゅうそく)に
三陸沿岸(さんりくえんがん)に拡(ひろ)がり、
現在では、養殖(ようしょく)ワカメの生産量(せいさんりょう)は全国の生産量の40%と日本一です。

黒潮と親潮がぶつかり合う三陸でとれたわかめ
生産量だけでなく、品質も高く評価されています

岩手の物産展などでも、三陸のわかめは大人気
「わかめは絶対に三陸産」と、
ご指名買いする方もいらっしゃるとか



一世帯あたりわかめ消費量の全国平均は年間1,079グラム。
最も消費量が多いのは岩手県で2,240グラム。
全国平均の2倍以上で偏差値も80と高く、消費量の多さが目立っている。

岩手県は養殖わかめの生産量が日本一であり、わかめ産地として消費量も多いようだ。
2位以下は福島県、千葉県、秋田県、山梨県と東日本の県が続いている。

養殖技術は、中国大連市付近で昭和5年頃に始まった。
日本(宮城県)に入ってきたのは、昭和20年。
岩手県には昭和25年頃に大船渡市に入ってきて、三陸沿岸に普及した。
最近では、輸入物におさされている。
岩手県民がもっとわかめを食卓にのせることなどを提言した。